



当行は、環境省認定
「エコ・ファースト企業」です。

「環境金融」で低炭素社会へ



当行は、気候変動キャンペーン
「Fun to Share」に賛同しています。



SHIGA BANK

なるほどしがぎん

第130期

事業のぶろぐ報告

2016年4月 1日

2017年3月31日



発行／2017年6月 編集／滋賀銀行 総合企画部 広報室 電話／077(521)2202

<http://www.shigagin.com>



しがの助

Change & Challenge

ごあいさつ

皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。当行は2016年4月より「チェンジ&チャレンジ」をメインテーマに、第6次中期経営計画(期間:3年間:2016年4月~2019年3月)をスタートさせました。

変革と挑戦により、お客さま・地域社会の発展に貢献し続ける「未来創造銀行『The・ちぎん』」を目指して、「3つのチェンジ」(①お客さま対応スピードのチェンジ②組織運営スピードのチェンジ③コスト構造のチェンジ)と「5つの挑戦」(①地方創生への挑戦②トップライン増強への挑戦③生産性向上への挑戦④強靱な経営基盤構築への挑戦⑤戦略的CSRへの挑戦)に取り組んでおります。

その結果、2017年3月期の当期純利益(単体)は、マイナス金利政策の影響等により前期比8億円減の139億円となりましたが、過去最高益であった前期に次ぐ利益を計上することが出来ました。また、2017年3月末の預金残高(譲渡性預金を含む)は前期比1,873億円増の4兆6,174億円、貸出金残高は前期比2,049億円増の3兆4,724億円と順調に推移しております。

これもひとえに皆さまのご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

なお、株主の皆さまのご支援にお応えするため、2016年度の年間配当は、普通配当の7円に特別配当1円を加えて8円とさせていただきます。

当行は「未来創造銀行」に向けて、引き続きCSR憲章(経営理念)に掲げる「地域社会」「役職員」「地球環境」との3つの共存共栄の実現に全力をあげてまいりますので、なお一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

2017年6月



取締役頭取

高橋 祥二郎

CSR憲章

[経営理念]

私たちは、伝統ある近江商人の「三方よし(売り手よし、買い手よし、世間よし)」の精神を継承した行是「自分にきびしく 人には親切 社会につくす」をCSR(企業の社会的責任)の原点とし、社会の一員として「共存共栄」を実現してまいります。

行是
自分にきびしく
人には親切
社会につくす

地域社会との 共存共栄

地域とともに歩む銀行として、お客さまの信頼と期待にお応えするため、「健全」と「進取」の精神を貫き、地域社会の発展に努めます。

役職員との 共存共栄

役職員一人ひとりの人権や個性を尊重し、働きがいのある職場づくりに努め、心身ともに「クリーンバンクしがぎん」の実現に努めます。

地球環境との 共存共栄

琵琶湖畔に本拠を置く企業の社会的使命として「環境経営」を実践し、地球環境を守り、持続可能な社会づくりに努めます。

滋賀銀行データ

名称 株式会社 滋賀銀行
THE SHIGA BANK, LTD.
本店所在地 滋賀県大津市浜町1番38号
設立 昭和8年10月1日
総資産 5兆5,173億円
預金残高 4兆6,174億円
(譲渡性預金含む)
貸出金残高 3兆4,724億円
資本金 330億円
従業員 2,125人
店舗数 137カ店(うち代理店18カ店)
(2017年3月31日現在)

CONTENTS

- ごあいさつ 1
- トピックス①事業性評価 3~4
- 第6次中期経営計画 5~6
- 個人のお客さまへ 7~8
- 法人のお客さまへ 9~10
- CSRの取り組み 11~12
- 財務データ 13~20
- トピックス②国際ネットワーク 21
- トピックス③特殊詐欺被害未然防止 22
- 連結財務諸表 23~24
- 単体財務諸表 25~26
- 株式の状況/株式のご案内 27~28
- 役員一覧・グループ会社 29
- トピックス④女性活躍 30

未来をともに創る

～地域の活力向上に、広い視野で取り組みます～

国内最大級ガラスハウスに事業性評価で融資 「守山バラ」で地方創生を目指す！

クニエダ株式会社(守山市) —— オランダ製 ガラスハウス栽培

全面ガラス張りのオランダ製巨大ハウスは、18,720㎡と国内最大級。世界最先端のシステムで温度、気圧、日照量などを制御し、年間を通じて高品質のバラが栽培できます。現在の5倍、年間400万本の生産を見込んでいます。当行は計画段階からサポート。ハウス建築資金は、行政や地元金融機関とも連携しつつ、事業の将来性や成長可能性を見極める「事業性評価」で融資に取り組みました。今後、バラの花を使った化粧品など6次産業化も検討されており、「守山バラ」のブランド化による地方創生に期待が集まっています。

事業性評価とは？

財務データや担保・保証に必要以上に依存することなく、取引先企業の事業内容や成長可能性などを適切に評価すること。経営理念や、経営の強み・弱み、また将来に対するビジョンや行動計画などを含めた多面的な視点で、お取引先の実態把握を行います。

～農業の事業性評価の新基軸～

「GAP」認証の普及拡大をサポート！



農産物の信頼確保につながり、大手スーパーなどが食材を調達する際の基準ともされる、第3者認証「GAP」。当行は、GAP認証取得支援を目的として、4月28日、西日本旅客鉄道株式会社ならびに株式会社ファーム・アライアンス・マネジメントと業務協力に関する協定を締結しました。あわせて、同認証を取得された生産者を対象とした融資商品「本業支援サポートローン『GAP

認証者サポートプラン』」の取り扱いを開始。持続可能な「農業」の普及と、地域農業の発展を通じた地域活性化を目指してまいります。



GAP (Good Agricultural Practice) : 農業生産工程管理とは？

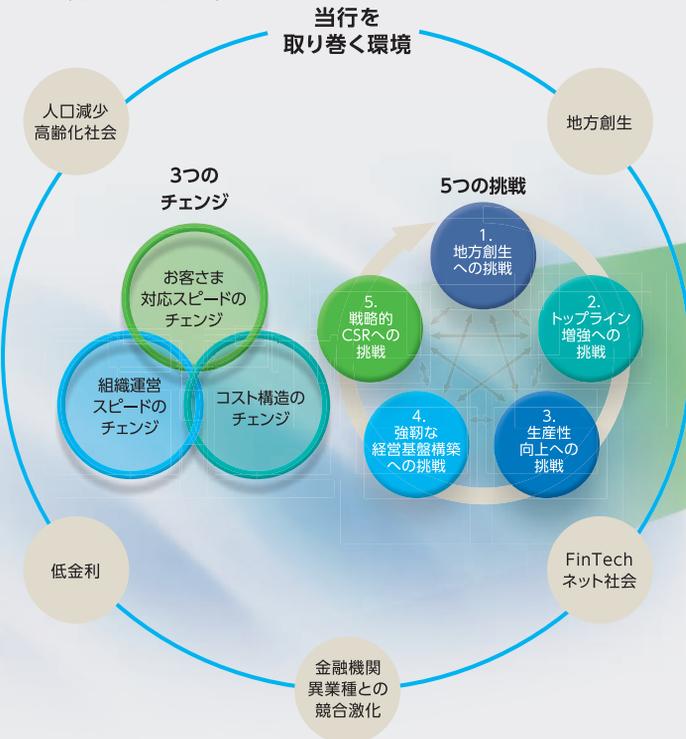
農業生産活動の持続性を確保するため、食品安全、環境保全、労働安全に関する法令等を遵守するための点検項目を定め、その実施、記録、点検、評価を繰り返し、生産工程の管理や改善を行うこと。

第6次中期経営計画

メインテーマ「チェンジ&チャレンジ」

輝かしき創立90周年
100周年へ
共有価値の創造

滋賀銀行の成長イメージ (ビジネスモデル)



経営計画

第6次中期経営計画			第7次中期経営計画			第8次中期経営計画		
2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
→ 85周年						→ 90周年		

100
周年

第6次中期経営計画の進捗状況

2017年3月期現在の、当計画における達成度は下表のとおりです。

第6次中期経営計画期間中の挑戦指標

項目	2019年3月期計画	2017年3月期実績
総預り資産(未残) (総預金+投資信託+公共債+金融商品仲介)	50,000億円	48,257億円
総貸出金(未残)	35,000億円	34,724億円
滋賀県内貸出金シェア (商工+金他一部の金融機関を除く)	50%	(※)47.81%
温室効果ガス排出量削減 (2016年度から2018年度の3年間平均で2006年度比較30%削減)	30%削減	30.87%削減

※2016年9月期現在の実績数値

長期的挑戦指標(中計期間に関わらず、実現に向けて長期的に挑戦する指標)

項目	長期的挑戦指標	2017年3月期実績
株主資本ROE	5%以上	6.20%
OHR	65%未満	72.39%

第6次中期経営計画では、メインテーマを「チェンジ&チャレンジ」と定め、3つのチェンジと5つの挑戦を基本戦略に掲げています。

既成概念や固定観念にとらわれない変革と挑戦を通じて、自らが筋肉質な銀行に生まれ変わり主体的に生き残ることで、地元・お客さまの成長を牽引し、地域の未来を創造する銀行、すなわち「未来創造銀行『The・ちぎん』」となることを目指します。



もっと便利で「頼れる しがぎん」へ

お客様の資産形成をサポート

「フィデューシャリー・デューティー（顧客本位の業務運営）に基づく販売体制の確立」を基本に、ライフステージに応じた適切な商品・サービスの提供に努めています。

 10歳代	 20歳代	 30~40歳代	 50歳代	 60歳代	 70歳代以降
ジュニアNISA	積立型商品 (iDeCo(個人型DC)、NISA、投信積立、平準払型保険)			退職金スペシャル定期 退職金専用ツインプラン 年金定期	贈与 遺言／相続
資産運用アドバイザー・休日相談店舗での資産運用相談					
保険コンサルティング(各種保険の見直し、医療保険・がん保険の取り扱い)					

『しがぎん』で資産形成

豊富なラインナップからお客様のニーズに合った質の高い提案と、アフターフォローを行います。



2017年1月から、基本的に60歳未満のすべての方がご利用できるようになった税制優遇効果の大きい年金制度。お近くの支店、出張所では非ご相談ください。



イデコちゃん

詳しくは、当行HPをご覧ください

<http://www.shigagin.com/>

CS(お客様満足)向上への取り組み

行員のCS意識啓発に取り組んでいます

お客様の立場に立って対応できる行員の育成に向け、階層別の会議や研修、支店別勉強会等を通してCS意識の啓発を図っています。

2017年3月に実施した管理職対象の「CS推進リーダー会議」では、認知症やその疑いのあるお客様への

対応を学ぶ「認知症サポーター養成講座」を開催。今後も、安心してご利用いただける仕組みづくりに努めてまいります。



店舗でのCS勉強会の様子

「しがの助」登場で新展開!

2017年度新CMが始まります

滋賀銀行の新たなCMは、オリジナルキャラクター「しがの助」が登場! 宣伝部長に就任した「しがの助」が、日々奮闘する姿をお届けします。7月から、びわ湖放送や当行HPにてオンエア。当行HPでは、「しがの助」専用ページを新設。今後もさまざまな動画の展開を予定しています。ぜひご覧ください。



【「しがの助」専用ページ】

<http://www.shigagin.com/shiganosuke/>



ニュービジネス支援な 地域の活性化に貢献し

どを通して ます



事業承継・資産承継・M&A コンサルティング業務

中小企業診断士や1級ファイナンシャル・プランニング技能士等の資格を有する経験豊富な行員が、事業や資産の承継に関するご提案を行っています。

また、企業の経営戦略のひとつとして、M&Aが注目されています。外部専門機関との連携など、幅広いネットワークで、M&Aの活用による経営課題の解決をお手伝いします。

ファン拡大を目指し、地域の魅力を発信! クラウドファンディング

クラウドファンディングの手法を通じて、地域ブランドの魅力向上や、地域資源を活用した新商品・サービスの提供に取り組む事業者をサポートしています。ニーズや特徴に合わせ、複数のクラウドファンディング運営会社と連携しています。

地域資源のさらなる 魅力向上を目指して



三徳 極上さば寿司ファンド
(長浜市)



京都「酒と魚とオトコマ食堂」
ファンド(京都市)



農園直営レストランファンド
(高島市)

企業のライフステージに応じた取り組み

◆ ニュービジネスサポート

起業家の皆さまを応援するため、「サタデー起業塾」によるビジネスヒントの提供や、しがぎんニュービジネス支援ネットワーク「野の花応援団」による産学官連携サポートなどを行っています。

しがぎんビジネスフォーラム「サタデー起業塾」

未来(あす)を担う次世代ビジネスの創造をテーマに、各分野で活躍されている経営者の講演や、専門家による各分野の最新動向の紹介などを行い、旺盛な起業家精神をサポートしています。

しがぎん「野の花賞」

「サタデー起業塾」の受講者の中から、ニュービジネスの顕著な取り組みを表彰しています。事業性評価を通じた本業支援の観点より株式会社リバネスと連携し、エントリー企業を個別にサポート。また、滋賀県内の上場企業7社さまより協賛いただき、「協賛企業賞」を新設しました。最終選考会では、エントリー企業8社が自社の製品や商品開発への取り組みなどをプレゼンテーションし、それぞれに各賞が贈られました。受賞企業の取り組みを、各賞の協賛企業とともに今後もサポートしてまいります。





CSRの取り組みも 着実に成果をあげています

子どもたちの学びや成長を応援する物品を寄贈
CSR私募債「つながり」が好評!

発行数
200件
超!

企業さまのCSR私募債※発行記念として、発行金額の0.2%相当額を当行が拠出し、学校等に、図書やスポーツ用品など、「子どもたちの学びや成長を応援する物品」を寄贈しています。2014年11月の取扱開始から、本私募債の発行は215件にのぼります。これまで延べ170の小学校等に、合わせて2,860万円相当の寄贈品を贈呈しました。



(2017年3月末時点)

CSR私募債とは

財務内容等の厳しい適債基準を満たし、かつ当行独自の環境格付「PLB格付」にて一定水準の格付を得られた企業さまが発行される債券



地域社会との共存共栄 しがぎん福祉基金

社会福祉法人しがぎん福祉基金は、2017年度、9団体、総額859万円を助成しました。第1回以来の助成累計は473件、総額3億5,507万円となりました。



同基金は、地域福祉の向上を願い、創立50周年(1984年)に設立。滋賀県内で展開される福祉の実験的・開拓的な取り組みに対して毎年、幅広く助成を行っています。

環境に関する各種表彰を受賞! しがぎんのCSRへの取り組みが評価

2016年 サステナブルファイナンス大賞 「地域金融賞」

「CSR私募債」において、独自の環境評価による環境格付(PLB格付)を組み込んだ当行ならではの取り組みを展開しているとして、評価されました。

主催：一般社団法人環境金融研究機構 RIEF
表彰式：1月23日



第20回 環境コミュニケーション大賞 環境報告書部門「優良賞」

環境等への取り組みを経営戦略と紐付けしながら展開した「統合報告書」と、写真などを多用し活動をわかりやすく伝えた「CSRレポート」が評価されました。

主催：環境省、一般財団法人地球人間環境フォーラム
表彰式：2月22日



平成28年度 しが生物多様性大賞 企業部門「大賞」

琵琶湖の環境問題に対する活動にストーリー性を持たせ、本業と絡めた独自の活動を継続している点や、従業員が自発的に地域への参画を行うなど、活動に広がりを見せている点が評価されました。

主催：滋賀県、滋賀経済同友会
表彰式：3月2日





お客さまと地域の成長の ために、 ともに歩んでまいります

個人・法人ともに順調に増加

預金等

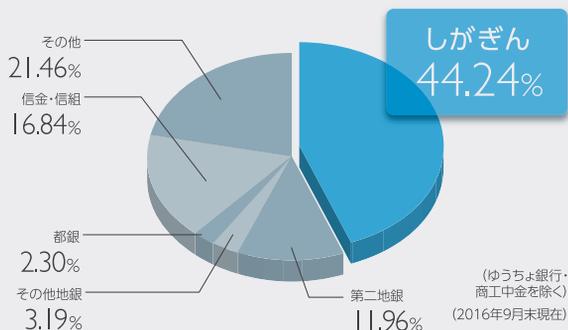
当期も地域の皆さまからのご支持を受けて、期中平均残高は前期比871億円増加し、4兆4,671億円と順調に推移しています。コアとなる個人預金の期中平均残高は3兆3,101億円で同355億円の増加となりました。

預金等（譲渡性預金含む）期中平均残高

単位：億円



預金残高「滋賀県内シェア」



※小数点第3位以下四捨五入

事業性・消費者向け・地方公共団体向け貸出ともに増加

貸出金

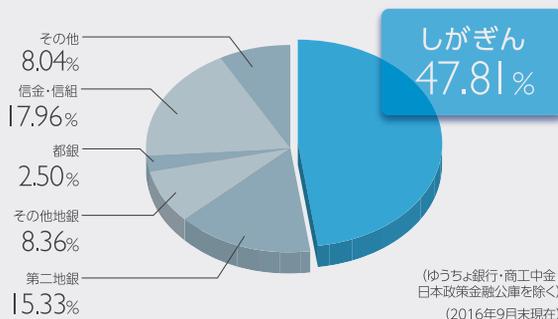
当期は、事業性貸出・消費者向け貸出・地方公共団体向け貸出がそれぞれ増加し、期中平均残高は3兆3,316億円となりました。前期比2,074億円、6.63%の増加となりました。

貸出金 期中平均残高

単位：億円



貸出金残高「滋賀県内シェア」





資産の運用も お任せください

多様な資産運用ニーズを親身にサポート

預り資産 残高

投資信託、公共債等の預り資産残高(取扱保険料累計額含まず)は2,082億円で、前期末比56億円の減少、うち個人の預り資産残高は1,982億円で、前期末比53億円の減少となりました。期中販売額は投資信託が163億円減少の395億円、保険が172億円減少の194億円となりました。

預り資産残高



投資信託・保険期中販売額



格付は安心の 「Aクラス」を確保

2つの格付機関が「A+」と高い評価

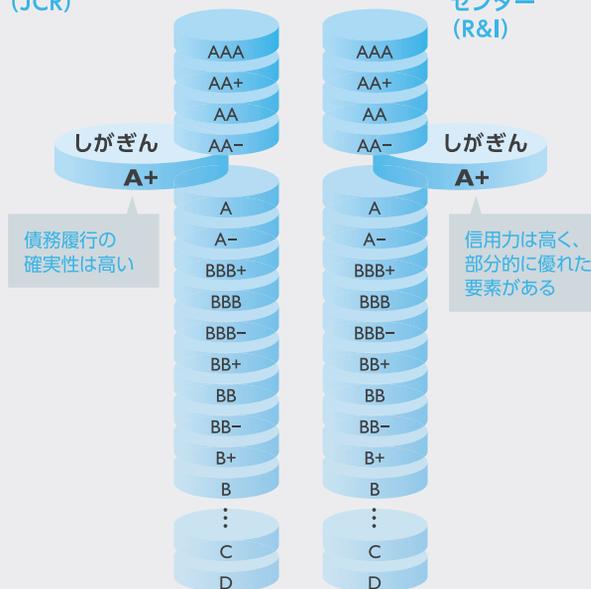
格付

「大切なお金は、安心できる銀行に預けたい」。格付はお客さまに安心して銀行をお選びいただくひとつの目安となる外部評価です。

当行は、2つの格付機関からともに「A+」を取得し、信用度について高い評価をいただいています。

日本格付研究所 (JCR)

格付投資情報 センター (R&I)



用語説明

格付

銀行預金の元金支払の確実性や安全性について、利害関係のない第三者が判断してその結果を簡潔な記号で表したものです。銀行を判断するうえで、安全性・信用度を客観的に評価した重要な指標のひとつです。



これからも「安全」「健全」な経営に努めます

自己資本比率も国際統一基準を大きくクリア

自己資本比率 (連結)

自己資本比率は、銀行の安全性、健全性を測る指標のひとつです。当行のように海外に営業拠点を持つ銀行は、国際統一基準を満たしていなければなりません。当行の自己資本比率は16.67%（バーゼルⅢ基準、2017年3月末、連結ベース）と国際統一基準を大きくクリアしています。

2017年3月末

	実績	最低所要比率
連結 総自己資本比率	16.67%	8.0%以上
同 Tier1比率	14.49%	6.0%以上
同 普通株式等Tier1比率	14.46%	4.5%以上

※2013年3月末より、バーゼルⅢ基準による自己資本比率を算出しております。

(ご参考:自己資本比率推移)



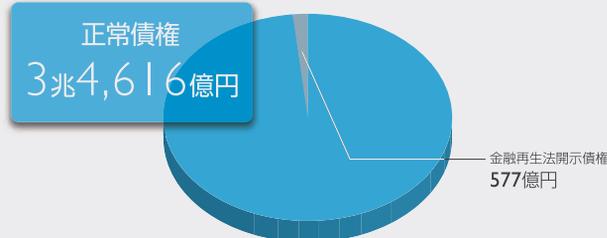
用語説明

自己資本比率

銀行の安全性、健全性を判断する基準のひとつに、自己資本比率があります。海外に支店を有する国際統一基準行では新たな自己資本比率規制（バーゼルⅢ）が2013年3月期決算から段階的に導入され、各最低所要比率を満たす必要があります。

不良債権の状況

当行の金融再生法に基づく開示債権の合計は前期末比82億円減少し577億円、総与信に占める比率は1.64%で同0.35%の低下となりました。また、貸倒引当金や担保などによる保全率は75.06%で同0.25%の上昇となりました。



金融再生法開示債権



用語説明

不良債権比率

貸出金等の総与信残高に占める不良債権の割合です。不良債権比率が低いほど、資産の質は高くなります。銀行ごとにその資産総額の規模が異なることから、この比率が銀行の健全性をみる指標のひとつになります。

お知らせします、 しがぎんの業績



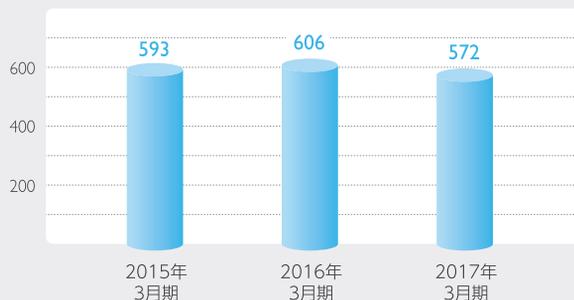
業績ハイライト

- 貸出金利回りの低下を主因に資金利益は前期比1,103百万円減少しました。役務取引等利益は同289百万円減少、その他業務利益は債券関係損益の減少を主因に同2,020百万円減少し、業務粗利益は同3,413百万円減益の57,240百万円となりました。
- 経費は人件費、物件費ともに減少し、全体で前期比1,006百万円の減少となったものの、実質業務純益は同2,407百万円減益の15,802百万円となりました。
- 当期は与信コストが450百万円となり、前期比1,834百万円減少した一方で、株式等関係損益が同1,153百万円減少したこと等から経常利益は同1,658百万円減益の19,230百万円、当期純利益は同855百万円減益の13,939百万円となりました。

業務粗利益

銀行本来の業務(貸出業務、為替業務、有価証券運用など)から得た利益です。

単位:億円



業務純益

一般企業でいう営業利益にあたります。業務純益＝業務粗利益－経費(人件費、物件費など)－一般貸倒引当金繰入額 単位:億円



経常利益

業務純益から株式の売却損益や不良債権処理に関わる費用などをプラス・マイナスした利益です。

単位:億円



当期純利益

経常利益から法人税や事業税等を差し引いた最終的な利益です。

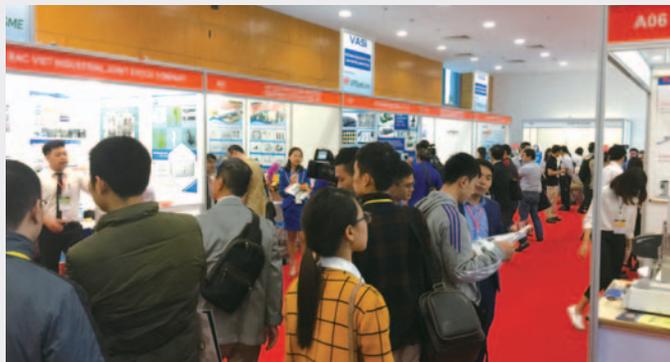
単位:億円



海外進出企業のビジネスマッチングサポート

第1回「FBCハノイ2017ものづくり商談会」に共催

第1回「FBCハノイ2017ものづくり商談会」が2017年2月23日、24日の2日間、ベトナム・ハノイで初開催されました(当行を含めた地方銀行と自治体など15団体が共催)。ベトナムに進出している日系製造業やベトナム現地企業、ASEAN諸国の企業などが参加し、商談が行われました。



熱気にあふれる会場には多くのベトナム人バイヤーが来場

インターネットを活用してBtoB取引を拡大 アリババ株式会社と ビジネスマッチングサービスを締結

中小企業を対象にインターネットを活用してBtoB(企業間取引)の海外販路開拓支援を行うアリババ株式会社(代表取締役社長CEO・香山 誠)とビジネスマッチングサービスを締結しました。



これにより、アリババの提供するサービスを通じて、インターネットを活用した海外販路開拓や商談・貿易サポートが可能になりました。

巧妙な手口に気を付けて

特殊詐欺にご注意ください!



不安をあおったり、うまい話を持ちかけたり、さまざまな手口でお金を要求する、特殊詐欺の被害が多発していますので、ご注意ください。

最近では、「百貨店店員」や「銀行協会職員」を名乗るものや、社会の出来事に便乗する新たな手口が広がっています。詐欺を疑われたら、いち早くお近くの銀行や警察などにご相談ください。

当行では、お客さまの大切なご預金をお守りするため、店頭やATMコーナーにおいて、注意喚起や「預手プラン」のご案内などを行っています。

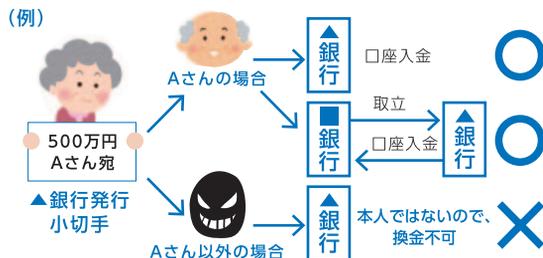


「預手プラン」って何?

多額の現金引き出しのお客さまに対し、資金用途などの確認に加えて、「記名式線引預金小切手※」のご利用をお勧めするものです。

※記名式線引預金小切手

銀行が自ら振出人兼支払人として発行する小切手のこと
(・記名式…受け取りは小切手に記載された受取人に限定)
(・線引…受取人のお取引口座に入金)



盗難や詐欺のリスクを大幅に抑えられます。

これって詐欺かも?と感じたら、以下までご連絡ください。

ハローサポート ☎ **077-521-9530**
(銀行休業日を除く9:00~17:00)

連結財務諸表

連結貸借対照表

(2017年3月31日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	470,106	預 金	4,516,648
コールローン及び買入手形	2,506	譲渡性預金	86,478
買入金銭債権	5,574	コールマネー及び売渡手形	90,276
商品有価証券	316	債券貸借取引受入担保金	137,947
金銭の信託	10,831	借 用 金	206,830
有価証券	1,467,592	外 国 為 替	61
貸 出 金	3,461,905	新株予約権付社債	22,438
外 国 為 替	5,254	そ の 他 負 債	28,909
そ の 他 資 産	58,747	退職給付に係る負債	8,831
有形固定資産	57,924	役員退職慰労引当金	12
建 物	14,444	睡眠預金払戻損失引当金	504
土 地	38,431	利息返還損失引当金	61
建設仮勘定	2,082	偶発損失引当金	168
その他の有形固定資産	2,965	繰延税金負債	35,007
無形固定資産	3,674	再評価に係る繰延税金負債	7,208
ソフトウェア	3,503	支 払 承 諾	23,930
その他の無形固定資産	170	負債の部合計	5,165,315
繰延税金資産	641	(純資産の部)	
支払承諾見返	23,930	資 本 金	33,076
貸倒引当金	△ 29,445	資 本 剰 余 金	24,577
		利 益 剰 余 金	185,201
		自 己 株 式	△ 3,490
		株 主 資 本 合 計	239,365
		その他有価証券評価差額金	120,103
		繰延ヘッジ損益	△ 1,206
		土地再評価差額金	11,561
		退職給付に係る調整累計額	1,220
		その他の包括利益累計額合計	131,679
		新 株 予 約 権	113
		非支配株主持分	3,088
		純資産の部合計	374,246
資産の部合計	5,539,561	負債及び純資産の部合計	5,539,561

連結損益計算書(要約)

(2016年4月1日から2017年3月31日まで)

(単位:百万円)

科目	金額	金額
経 常 収 益		90,151
資金運用収益	51,959	
(うち貸出金利息)	(38,051)	
(うち有価証券利息配当金)	(13,651)	
役務取引等収益	13,923	
その他業務収益	18,562	
その他経常収益	5,705	
経 常 費 用		68,919
資金調達費用	3,591	
(うち預金利息)	(1,606)	
役務取引等費用	4,627	
その他業務費用	14,850	
営業経費	43,999	
その他経常費用	1,850	
経 常 利 益		21,231
特 別 利 益		10
固定資産処分益	10	
特 別 損 失		493
固定資産処分損失	63	
減 損 損 失	430	
税金等調整前当期純利益		20,749
法人税、住民税及び事業税	4,052	
法人税等調整額	1,527	
法人税等合計		5,580
当期純利益		15,168
非支配株主に帰属する当期純利益		273
親会社株主に帰属する当期純利益		14,895

単体財務諸表

第130期末 貸借対照表(要約)

(2017年3月31日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	469,853	預 金	4,519,760
コールローン	2,506	譲渡性預金	97,728
買入金銭債権	5,574	コールマネー	90,276
商品有価証券	316	債券貸借取引受入担保金	137,947
金銭の信託	10,831	借 用 金	196,171
有価証券	1,468,326	外 国 為 替	61
貸 出 金	3,472,437	新株予約権付社債	22,438
外 国 為 替	5,254	そ の 他 負 債	15,237
そ の 他 資 産	24,798	退職給付引当金	10,466
有形固定資産	57,558	睡眠預金払戻損失引当金	504
無形固定資産	3,591	偶発損失引当金	168
支払承諾見返	23,930	繰延税金負債	34,391
貸倒引当金	△ 27,582	再評価に係る繰延税金負債	7,208
		支 払 承 諾	23,930
		負債の部合計	5,156,290
		(純資産の部)	
		資 本 金	33,076
		資 本 剰 余 金	23,942
		資 本 準 備 金	23,942
		利 益 剰 余 金	177,149
		利 益 準 備 金	9,134
		その他利益剰余金	168,015
		固定資産圧縮積立金	400
		別 途 積 立 金	152,293
		繰越利益剰余金	15,321
		自 己 株 式	△ 3,490
		株 主 資 本 合 計	230,679
		その他有価証券評価差額金	119,961
		繰延ヘッジ損益	△ 1,206
		土地再評価差額金	11,561
		評価・換算差額等合計	130,317
		新 株 予 約 権	113
		純資産の部合計	361,109
資産の部合計	5,517,399	負債及び純資産の部合計	5,517,399

第130期 損益計算書(要約)

(2016年4月1日から2017年3月31日まで)

(単位:百万円)

科目	金額	金額
経 常 収 益		74,323
資 金 運 用 収 益	51,915	
(うち貸出金利息)	(38,036)	
(うち有価証券利息配当金)	(13,630)	
役 務 取 引 等 収 益	11,581	
そ の 他 業 務 収 益	4,948	
そ の 他 経 常 収 益	5,877	
経 常 費 用		55,092
資 金 調 達 費 用	3,540	
(うち預金利息)	(1,608)	
役 務 取 引 等 費 用	5,078	
そ の 他 業 務 費 用	2,590	
営 業 経 費	42,055	
そ の 他 経 常 費 用	1,827	
経 常 利 益		19,230
特 別 利 益		10
特 別 固 定 資 産 処 分 益	10	
特 別 固 定 資 産 処 分 損 失		490
減 損 損 失	59	
減 損 損 失	430	
税 引 前 当 期 純 利 益		18,751
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	3,357	
法 人 税 等 調 整 額	1,455	
法 人 税 等 合 計		4,812
当 期 純 利 益		13,939

株式の状況をお知らせします

株式の状況 (2017年3月31日現在)

発行済株式総数 265,450千株

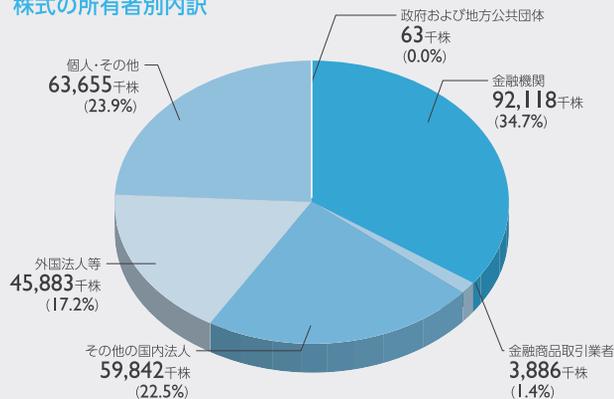
株主数 11,488人

大株主

株主名	持株数	持株比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	15,237千株	5.74%
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	9,518千株	3.58%
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	9,349千株	3.52%
日本生命保険相互会社	8,054千株	3.03%
明治安田生命保険相互会社	7,999千株	3.01%
滋賀銀行従業員持株会	6,509千株	2.45%
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	6,117千株	2.30%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	6,033千株	2.27%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,804千株	1.80%
株式会社みずほ銀行	3,920千株	1.47%
計	77,541千株	29.21%

※当行は自己株式5,144千株(発行済株式総数に対する所有株式数の割合は1.93%)を所有しておりますが、上記大株主には記載しておりません。

株式の所有者別内訳



株式のご案内

事業年度

4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会

毎年6月に開催いたします。

基準日

定時株主総会の議決権 3月31日

期末配当 3月31日

中間配当 9月30日

※その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日

公告方法

電子公告により当行ホームページ(<http://www.shigagin.com/>)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

単元株式数

1,000株

株主名簿管理人／特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

郵便物送付先／各種お問合せ先

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

●各種事務に関するご照会 電話0120-094-777(通話料無料)
[受付時間 9:00~17:00(土、日、祝日、12月31日~1月3日を除く)]

●ホームページアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>
三菱UFJ信託銀行の本支店でもお取り次ぎいたします。

株式に関する各種お手続き

「届出住所・姓名などの変更」、「配当金の振込先の指定または変更」、「単元未満株式の買取・買増請求」などにつきましては、口座を開設されている証券会社(証券会社に口座開設されていない株主さまは、上記の三菱UFJ信託銀行)へお申し出ください。
未受領配当金(ゆうちょ銀行の払渡期間経過後)のお支払いにつきましては、上記の三菱UFJ信託銀行までお申し出ください。

役員一覧

取締役会長	大道良夫	※1取締役(非常勤)	辻田素子
取締役頭取(代表)	高橋祥二郎	※1取締役(非常勤)	安井 肇
専務取締役(代表)	今井悦夫	監 査 役	西澤由紀夫
常務取締役	林 一義	監 査 役	長谷川雅人
常務取締役	大野恭永	※2監査役(非常勤)	西川 聡
常務取締役	若林岩男	※2監査役(非常勤)	松井保仁
常務取締役	西 基宏	執行役員	小西哲也
常務取締役	西藤崇浩	執行役員	中島浩之
取 締 役	森本 勝	執行役員	竹村雅人
取 締 役	北川正義	執行役員	青木和夫
取 締 役	久保田真也	執行役員	川口宏治
		執行役員	堀内勝美

※1は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
 ※2は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

連結子会社 (2017年3月31日現在)

会社名	主な事業内容
しがぎんビジネスサービス株式会社	事務代行業務、不動産管理業務
しがぎん代理店株式会社	銀行代理店業務
しがぎんキャッシュサービス株式会社	現金精査・整理、ATM管理業務
滋賀保証サービス株式会社	信用保証業務、貸出担保評価・管理業務
しがぎんコンピュータサービス株式会社	事務計算受託業務
株式会社しがぎん経済文化センター	コンサルティング業務
株式会社滋賀ディーシーカード	クレジットカード業務、信用保証業務
しがぎんリース・キャピタル株式会社	リース・投資業務
株式会社しがぎんジェーシービー	クレジットカード業務

トピックス
TOPICS ④女性活躍
推進法

男女の実質的な機会の平等を目指し、
 ポジティブ・アクションを実践しています!

「女性活躍推進法」への取り組み

2016年4月、「女性活躍推進法」に基づく行動計画を策定しました。引き続き、意欲ある女性が個性と能力を十分に発揮できる職場環境づくりに取り組んでまいります。

「当りの行動計画内容」

計画期間:2016年4月1日～2020年3月31日(4年間)

- 目標:①管理職(課長級以上)に占める女性割合…5%以上
 ②管理職(代理補以上)に占める女性割合…25%以上
 ③法人渉外に携わる女性割合…20%以上



女性リーダーエンカレッジ講座



女性向け「ゆとりプランセミナー」

職員の働く意識・意欲の向上を目指して

「働くパパママ応援セミナー」を開催

育児休業中の職員とその家族対象の「働くパパママ応援セミナー」を2017年3月8日に開催しました。男性、女性それぞれの体験談や思いを伝えることで「共働き世帯での子育ては夫婦間での協力が大切」との認識を深める機会となりました。今後も仕事と子育てを両立できる働きやすい職場づくりに努めるとともに、子育てに対する夫婦間の相互理解等、意識改革への取り組みも深めてまいります。

